

大谷大学大学院文学研究科 入学者受入れの方針

◆修士課程

【教育目標(人物養成上の目的)】

修士課程は、専攻学問分野の高度な専門知識と研究能力、その学修過程で身につけた視野や能力でもって、現代社会を主体的に生き、社会や文化の発展に貢献することのできる人物を養成する。

具体的には以下のような人物の養成である。

- (1) 高度な専門的知識と研究能力を備えた創造性豊かな研究者を目指す人物の養成
- (2) 高度な専門的知識・能力を持つ職業人の養成
- (3) 知識基盤社会を協調的に支えながら、人と人との関係を再創造していこうとする高度で知的な教養人の養成

【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー AP)と入学制度】

教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。

- (AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)
- (AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)
- (AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)
- (AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)

入試制度		教育研究上の目的※				各入試制度のねらい
		(AP1)	(AP2)	(AP3)	(AP4)	
一般入試 [秋季・春季]	筆記	◎	◎		◎	本学大学院の教育理念を理解し、大学卒業相当の知識をもった学生を、筆記試験と面接により受入れる。
	面接	○		◎		
社会人入試	筆記	◎	◎		◎	本学大学院の教育理念を理解し、大学卒業相当の知識をもった学生を、社会経験のある者を対象として、筆記試験と面接により受入れる。
	面接	○		◎		
外国人留学生入試	筆記	◎	◎		◎	本学大学院の教育理念を理解し、大学卒業相当の知識をもった学生を、外国人留学生を対象として、筆記試験と面接により受入れる。
	面接	○		◎		
指定校制推薦 入学試験制度	書類	◎	◎		◎	本学大学院の教育理念を理解し、大学卒業相当の知識をもった学生を、龍谷大学文学部真宗学科から推薦を受けた者を対象として、提出書類及び面接により受入れる。
	面接	○		◎		

※ ◎：特に対応している ○：対応している

◆博士後期課程

【教育目標(人物養成上の目的)】

博士後期課程は、専攻学問分野の優れて高度な専門知識と研究能力を有し、人間や社会への広い視野をも備えて、自立した研究活動をおこない、社会や文化の発展に貢献することのできる人物を養成する。

【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー AP)と入学制度】

教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。

- (AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)
- (AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)
- (AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)
- (AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)

入試制度		教育研究上の目的※				各入試制度のねらい
		(AP1)	(AP2)	(AP3)	(AP4)	
一般入試 [春季]	筆記	◎	◎		◎	本学大学院の教育理念を理解し、修士課程修了相当の知識をもった学生を、筆記試験と面接により受入れる。
	面接	○		◎		
外国人留学生入試	筆記	◎	◎		◎	本学大学院の教育理念を理解し、修士課程修了相当の知識をもった学生を、外国人留学生を対象として、筆記試験と面接により受入れる。
	面接	○		◎		

※ ◎：特に対応している ○：対応している